

かつの微生物農法研究会便り

H19.11.1 Vol.1 1



足早に秋は通り過ぎ。

おかげさまで今年の新米もご好評をいただいております！

今年も『花輪ばやし』新米のご予約や贈答用のご注文をたくさんいただきました。また食後に嬉しい励ましのお言葉やご感想も多く寄せていただいております。今年のお米の収穫は、天候に恵まれたこともあって一斉に進み、こんなに一気に忙しくなる年もなかったと皆言っています。米作りは年を追うごとに事務手続きの煩雑化が進んでいて、高齢化している産地では窮しているのが実情です。当会では事務局を設けて、生産者は美味しい米作りに専念するように組織しています。価格的には決して安くはない私たちのお米ですが、投入資材の選定や美味しいお米作りのためのあらゆる努力をして一生懸命作っておりますので、今年もご愛顧のほどよろしくお祈いします。生産者一同、すでに田んぼでは来年の『花輪ばやし』栽培のために作業がスタートしています。皆様からも是非、今年の『花輪ばやし』の食後のご意見やご感想をお寄せ下さい。次年度へ向け、皆様と一緒に、さらに美味しい米作りをしていきたいと思っています。

「微生物農法」って何のこと？

水田の土の中には沢山の種類、膨大な数の微生物が活動しています。私たち人間のお腹では善玉菌と悪玉菌のバランスが崩れると体調が悪くなりますが、イネにとってのお腹を水田土壌、とらえたのが微生物農法です。水田の土も微生物のバランスを整えてやるのがとても重要で、そのバランスが崩れるとイネが病気にかかりやすくなったり、生長が上手くいかなかったりします。有機肥料や堆肥で微生物バランスを良好に保つことで、健康で自ら美味しくなる

食べてお得なサービス実施中。

ポイントシールをためて送ると必ずもらえるプレゼント！



お買い上げいただいた商品についてくるシールを集めて専用台紙に貼って送ると、お米などをめれなくプレゼント！ お問い合わせは 0120-08-2028 まで



11月、朝は0 近くまで冷え込む。
朝もやの中、田んぼからも湯気上がる。

TOPICS

講談社の「日本一おいしい米の秘密」という本で、微生物農法米あきたこまち『花輪ばやし』が紹介されました。機会があれば見てみてください！！

生産地から

当地鹿角は十和田八幡平国立公園に代表される高原地帯の紅葉もピークを過ぎ、里山が燃えるような色合いとなっています。村中の楓まで色鮮やかに変わり、朝もやの濃さも深まった秋、もうすぐ始まる厳しい冬を感じさせるようになりました。冬は冬で八幡平温泉郷や大湯温泉郷、湯瀬温泉郷へ雪見風呂を楽しみに、また雪中の十和田八幡平国立公園を観光に訪れる方々も多いわけですが。農家では、鹿角の冬の寒さをうまく利用した寒締め野菜の栽培が始まります。厳しい寒さにあてることで野菜が糖度を増し、この上なく甘～い葉物野菜ができるのです。厳しい鹿角の冬ならではの食材です。



当地鹿角の里山も赤く染まった。熊やカモシカ、狐狸が這う山野では、今頃、近づく冬を越す為に食糧集めに奔走していることだろう。白鳥も大拳南下してきている。鮭は産卵のために米代川をさかのぼり、支流の川底を洗っている。



収穫の秋から冬場にかけては、当地発祥の「きりたんぼ鍋」が美味しい季節。地鶏の出汁をベースに、季節の野菜やキノコを入れ、ご飯を潰して筒状にした「たんぼ」を食す、身体の芯から温まる郷土料理。11月11日はきりたんぼの日。



秋の十和田湖で遊ぶ。



こちらのホームページで鹿角地域の秋の紅葉の模様など様々な観光案内がご覧いただけます。
(社)十和田八幡平観光物産協会
<http://www.ink.or.jp/~kankou18/>
たんぼ小町ちゃんとかづの三姫の鹿角探訪記
<http://blog.livedoor.jp/kazuno2007/>



大人になつたら、
したいこと。

もうご覧になりましたか? JR東日本/大人の休日倶楽部のTVCM。十和田湖を舞台に、吉永小百合さんが主演なさっています。夫の趣味に付き合っって十和田湖で釣りに興じる、という内容ですが、紅葉の十和田湖を背景に、なんともいえずほのぼのとした良い映像となっています。筆者、縁あってこのCMロケのお手伝いをさせて頂いたのですが、さすが吉永さん綺麗でした。皆さんも是非、十和田湖へご夫婦で旅行にいらしてみたいかがでしょうか?



美味しいお米とりんごのご注文 / お問い合わせ先は・・・
〒018-5201 秋田県鹿角市花輪字赤川端7-3
有限会社 安金太郎商店
フリーダイヤル: 0120-08-2028
e-mail kintaro@umaikome.jp

ぜひ一度
かづの
鹿角へ遊びに
来てみて下さい!

有限会社 安金太郎商店
かづの微生物農法研究会
事務局

文・写真: 安金 大輔
この「微生物農法研究会便り」のバックナンバーや、毎月発送などのご希望がありましたらご一報下さい。感想もお待ちしています。